

地域学校 協働 本部 だより

子供たちの成長を一緒に感じませんか？

今や学校は、学校に勤務している先生方だけでは多様な教育活動を展開していきません。飛田給小学校は、PTAを始め健全育成委員会や地区協議会等から教育活動に対して様々なご支援をいただいておりますが、実際に学校の教育活動に加わっていただく「学習支援ボランティア」の支援も必要としています。

地域学校協働本部では、この地域の「子供たち」の教育を地域で支える「学習支援ボランティア」を募集しています。

地域の皆様！この学習支援ボランティアを通じて、子供たちが成長していく姿を、間近で見守り関わられる「楽しさ」を感じてみませんか？



学習支援ボランティアにお願いしたいこと

現在のところ、国語や算数といった講義タイプの教科については、数名の学習支援ボランティアにご協力頂き、児童それぞれの理解度や課題に応じて、授業のサポートを行っていただいております。今回、募集する学習支援ボランティアは、書写や図工、家庭科といった実技タイプの教科、授業の補助員、見守り役となります。実技タイプの教科は、先生方も教材を研究し、練習にも取り組みますが、教科の数や時間の制約もあり、理想通りにはいかないのが現実です。

とはいえ、小学校で学ぶ実技タイプの教科は、普通の大人であれば誰でも経験のあるものばかりで、地域に中には得意な方や経験豊富な方がいらっしゃるのではないかと思います。そのような地域の方々に、学習支援ボランティアとして授業の補助や見守りをお願いできれば、授業の質も向上し、子供たちも意欲的に取り組めるのではないかと考えています。

裏面に現在募集している具体的な学習支援の内容を記載していますので、少しでも得意なものや、ご経験のあるものがありましたら、是非ご協力をお願いします！

裏面に続く

あなたの「得意」や「経験」を募集しています！



書写の指導・補助

書写では、「とめ」「はね」「はらい」などを意識しながらお手本に沿って練習します。3年生以上の子供たちは普段使い慣れていない毛筆の学習を月に1回学びます。資格を所持されていない方でも有段者でなくても構いません。筆への力の込め方や「はね」「はらい」などを見ていただけることで、子供たちは毛筆で書くよさがより感じられると思います。



図工の補助・見守り

30人の子供たちが創作活動をしていると、教師一人では、創作のヒントが欲しい子供や困っている子供へ同時に支援をすることが難しいことがあります。ましてや、彫刻刀やのこぎり、熱いグルーガンなどを使用するときはなおさらです。大人の目がたくさんあることで子供たちも安心して活動に集中できます。



調理実習の補助・見守り

家庭科は5年生以上の子供たちが学習しますが、その多くが調理未経験の子供たちです。包丁の使い方、熱したものの扱い方など、一つ間違えると大怪我にもなりますし、食事として取り入れるものなので注意も必要です。教師のほかにも見守っていただける方がいらっしゃるとより子供たちも安心して調理に取り組めます。



ミシンがけ・裁縫の補助

調理実習同様、ミシンがけや裁縫も未経験の子供たちが多い学習になります。また、裁縫の「波縫い・返し縫い」、「玉止め・玉結び」、「ミシンの糸通しや操作」は、調理よりも個別の支援が必要です。多くの方に入っていただけると子供の困り感に寄り添うことも子供の制作にかかる時間の短縮も図ることもできて大変助かります。



昔遊びの手ほどき

1・2年生の生活科の「昔遊び」では、「けん玉」や「独楽」、「お手玉」、「あやとり」などを扱います。教師も練習をして、授業に臨みますがなかなか一筋縄にはいきません。「けん玉」や「独楽」、「お手玉」、「あやとり」を使った技や遊び方を教えられる方がいらっしゃると、子供たちが昔遊びにより興味をもって活動に取り組めるようになります。

上記以外にも、算数の授業での学習支援や丸つけの補助、生活科(低学年)の草花や昆虫に詳しい方による草花・昆虫紹介、クラブ活動(ダンスクラブ、手芸クラブ、バドミントンクラブ、イラストクラブ、ソフトバレーボールクラブ)におけるサポートなど、さまざま「得意」や「経験」を募集しております。

ご不明な点、ご質問などがございましたら、下記の連絡先までお気軽にご連絡ください。